## 令和7年度山梨県障害者ピアサポート研修カリキュラム

## 基礎研修カリキュラム

<u> </u>				
1日目				
科目名	時間数	内容		
講義	440 分			
1. ピアサポートの理解	30 分	・障害領域ごとの歴史や背景 ・障害領域ごとの視点		
2. 演習①	60 分	・講義「ピアサポートの理解」の振り返り、気づきの共有		
3. ピアサポートの実際・実例	70 分	・障害領域ごとのピアサポートの実践		
4. 演習②	40 分	・講義「ピアサポートの実際・実例」の振り返り、気づきの共有		
2日目				
5. コミュニケーションの基本	40 分	・ピアサポートの視点を取り入れたコミュニケーション 技法や経験の共有		
6. 演習③	60 分	・講義「コミュニケーションの基本」の振り返り、気づきの共有		
7. 障害福祉サービスの基礎と実際	40 分	<ul><li>・障害福祉施策の歴史</li><li>・障害福祉施策の仕組み</li></ul>		
8. 演習④	20 分	・講義「障害福祉サービスの基礎と実際」の振り返り、 気づきの共有		
9. ピアサポートの専門性	30 分	・ピアサポートの具体的な専門性 ・倫理と守秘義務		
10. 演習⑤	50 分	・講義「ピアサポートの専門性」の振り返り、気づきの 共有		

<sup>※1, 3, 5, 9</sup>は、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者が講師であること

## 専門研修カリキュラム

寺 一切 じかりイエノム				
1日目				
科目名	時間数	内容		
講義	540 分			
1. 基礎研修の振り返り	30 分	・基礎研修の振り返り		
2. ピアサポーターの基礎と専門性	40 分	・障害特性に応じた専門性		
3. 演習①	60 分	・講義「ピアサポーターの基礎と専門性」の振り 返り、気づきの共有		
4. ピアサポートの専門性の活用	40 分	・障害特性に応じたピアサポートの専門性を活 かすための視点		
5. 演習②	30 分	・講義「ピアサポートの専門性の活用」の振り 返り、気づきの共有		
6. 関連する保健医療福祉施策の仕組みと 業務の実際(障害者)	<b>A</b> 40 ()	•関連法、関連施策		
6. ピアサポートを活用する技術と仕組み(事業所)	各 40 分	・現場におけるピアサポートの活用方法		
7. 演習③(障害者)	A 40 ()	・講義「関連する保健医療福祉施策の仕組み と業務の実際」の振り返り、気づきの共有		
7. 演習③(事業所)	各 40 分	・講義「ピアサポートを活用する技術と仕組み」 の振り返り、気づきの共有		
8. 演習④	20 分	・障害者、事業所職員別講義及び演習内容に ついての共有		
2日目				
9. ピアサポーターとしての働き方(障害者)	A 00 /	• 労働法規		
9. ピアサポーターを活かす雇用(事業所)	各 30 分	・ピアサポーターを雇用し、協働する上での留 意点		
10. 演習⑤ (障害者)	A 40 ()	・講義「ピアサポーターとしての働き方」の振り 返り、気づきの共有		
10. 演習⑤(事業所)	各 40 分	・講義「ピアサポーターを活かす雇用」の振り返り、気づきの共有		
11. セルフマネジメントとバウンダリー	30 分	<ul><li>・ピアサポーターが葛藤しやすい状況</li><li>・病気や障害を抱えて働く上でのセルフケア</li></ul>		
12. 演習⑥	40 分	・講義「セルフマネジメントとバウンダリー」の振 り返り、気づきの共有		
13. チームアプローチ	40 分	・所属機関(チーム)におけるピアサポーターの役割と協働における留意点		
14. 演習⑦	60 分	・講義「チームアプローチ」の振り返り、気づき の共有		

※2, 4, 11は、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者が講師であること

※13は、ピアサポーター又はこれに準ずる障害当事者及び専門職が講師であること